

## 2026 年度市・县民税申报书的填写例

様式第 5 号

# 令和 8 年度 市県民税 申告書

豊田市長 様 年 月 日 提出

宛 名 番 号

番号確認欄

個・住・他( )

身元確認欄

個人番号 (我的号码)

姓名

出生年月日

自家或手机的电话号码

工作单位的电话号码

工作单位的公司名

填写的年月日

住址

住所

工资收入  
请附上源泉征收票、工资明细书。无源泉征收票者、申报书背面的[5]处亦请填写。

社会保险金扣除  
国民养老保险金请附上扣除证明书或(已交纳的)领收证书。

生命保险金扣除  
请附上证明书。

地震保险金扣除  
请附上证明书

该当以下内容时、请填写配偶者的(1)个人号码・(2)出生年月日・(3)姓名・(4)收入等。  
**配偶者扣除**  
申报者的上一年中的合计所得金额在 1,000 万日元以下、其同一生计的配偶者的上一年中的合计所得金额在 58 万日元以下时、(事业专从者除外)  
**配偶者特别扣除**  
申报者的上一年中的合计所得金额在 1,000 万日元以下、其同一生计的配偶者的上一年中的合计所得金额超过 58 万日元但在 133 万日元以下时(事业专从者除外)  
**扣除对象配偶者之外的同一生计的配偶者**  
申报者的上一年中的合计所得金额超过 1,000 万日元、其同一生计的配偶者的上一年中的合计所得金额在 58 万日元以下时(事业专从者除外)  
※有扣除对象配偶者之外的同一生计的配偶者时、请在□内打上“√”。

前年中に収入がなかった人等は、裏面14通信欄に記入してください。

1 所得 (令和 7 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

・关于在 2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日间产生的所得、请进行申报。  
・无收入者或有无收入的期间者、请在申报书背面的[14]处、填写其期间的生活状况。  
・个体经营者、有需要办理其他手续或资料的情况、请向税务署或市民税课进行咨询。  
・关于申报在国外的亲属的扶养时、请在确认另纸的「申报在国外的亲属的扶养时」的基础上、提交或出示必要的资料。

2 所得控除 (○印の控除を受ける場合は、必ず証明書等(原本)が必要。郵送した証明書等は、必ず収入控除欄に記入してください。)

・医疗费の控除  
请附上明细书等、并按如下内容进行填写。  
医疗费・购买医药品费用：①  
保险等的补贴费用：②  
相抵后的金额：①－②

上一年中の合计所得金額在 500 万日元以下(事实上没有与进行了婚姻关系同样者存在的情况)、接受以下的扣除时、请在相应的□上打“√”。

**寡母扣除**  
・与丈夫离婚、有除了孩子以外的扶养亲属时  
・丈夫去世或丈夫生死不明时  
□死別 □生死不明  
□離婚 □失踪  
请在其中的一个□上打“√”。

**单亲家庭的扣除**  
现在是未婚者或配偶者的生死不明者、有总所得金额等在 58 万日元以下的同一生计的孩子们时  
□父 □母 请在其中的一个□上打“√”。

**残疾者扣除**  
申报者或配偶者、扶养亲属是有残疾时、请在身体/精神/智能的该当处画○、并填写上等级。

扶養控除  
同一生計の亲属(配偶者以外)中、上一年中の合計所得金額有在 58 万日元以下者时、请填写扶养亲属的[1]个人号码・[2]姓名・[3]亲属关系・[4]出生年月日等。

[3]亲属关系：  
女儿/儿子=子  
父亲=父  
母亲=母  
哥哥/弟弟=兄/弟  
姐姐/妹妹=姐/妹  
继父・公公・岳父=义父  
继母・婆婆・岳母=义母

关于配偶者或扶养亲属等、请在同居/分居的该当项目上画○。  
分居时、配偶者或扶养亲属等居住在国外时、请填写其国家名、居住在日本国内时、请将其住址填写在申报书背面的[13]处。

**特定亲属特别扣除**  
同一生計の 19 岁以上未滿 23 岁的亲属、上一年中の合計所得金額超过 58 万日元但在 123 万日元以下时、请填写[1]～[4]・[5]的收入、在「特親(特定亲属)」处画○。

3 事業(営業等・農業)所得の計算 4 不動産所得の計算 5 給与収入明細〔戸籍い、アルバイト等で源泉徴収  
票のない人は記入してください。〕

項目	金額
収入金額	
売上(収入)金額 ①	
家賃消費・その他収入 ②	
計①+②(表裏Aへ転記) ③	
経費	
売上原価 ④	
給料・賃金 ⑤	
租税公課・損害保険料 ⑥	
光熱費・通信費 ⑦	
修繕費 ⑧	
減価償却費 ⑨	
運搬費・肥料費・農具費 ⑩	
小作料・賃借料 ⑪	
土地改良費 ⑫	
消耗品費・雑費他 ⑬	
経費計(④～⑬の合計) ⑭	
専従者控除額(⑭から転記) ⑮	
所得金額(③-⑮)(表裏Cへ転記)	

項目	金額
収入金額	
貸した不動産の所在地	
貸した相手の氏名	
種 目 土 地 ・ 家 屋	
金 額	
収入金額計(表裏Aへ転記) ①	
租税公課・損害保険料 ②	
借入金利子 ③	
修繕費 ④	
減価償却費 ⑤	
雑費他 ⑥	
経費計(②～⑥の合計) ⑦	
所得金額(①-⑦)(表裏Cへ転記)	

月	収入金額	勤務日数	勤務先 (会社名・名称・所在地等)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
計			

給与(給与)の「収入金額」欄Aへ記入。

是工资所得者、但没有源泉征收票时、请填写以下内容。

- 毎月の収入金額
- 勤務日数
- 勤務先(会社名、所在地、電話番号)
- 奖金(奖金)
- 合計金額(请将合計金額转记至申报书正面「工资(給与)」的「収入金額」欄A处。)

6 所得金額調整控除

【給与等の収入金額850万円未満で次のいずれかに該当する場合、対象の方の個人番号や氏名等も記入してください。】

氏名	住所	生 年 月 日	所得金額
----	----	---------	------

7 雑損控除 【災害等による被害を受けた場合は、必要書類を添付してください。】

被害の状況	被害の金額	被災したものの種類	被災したものの金額
-------	-------	-----------	-----------

8 寄附金税額控除

【領収書(原本)が必要。記載された領収書等は返却しません。】

寄附金の種類	寄附金の金額	寄附金の用途
--------	--------	--------

9 事業専従者の内訳

※専従者の個人番号を記入してください。

氏名	住所	生 年 月 日	所得金額

10 分離課税所得・山林所得等

(単位:円)

種類	区分	①収入金額	②必要経費	③差引金額(①-②)	特別控除額	本年分からの課税所得金額	翌年以降に繰り越す所得金額
分離課税	一般・雑損						
	一般・特定・雑損						
	一般						
	山林・雑損						

11 市県民税の納付方法

給与・公的年金等に係る所得以外(令和8年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る納付方法(希望の徴収方法に○印を付けてください。)

1 市県民税(給与から差引き) 2 市県民税(4分で納付)

12 事業税に関する事項

事業税の課税標準	事業税の税率	事業税の納付額
----------	--------	---------

13 別居の扶養親族等に関する事項

氏名	住所
氏名	住所

14 通信欄

前年中収入がなかった人や収入のない期間があった人等は記入してください。

(該当するものに○印を付けるか、又は記入してください。)

1 下記の人(家族等)の収入等で生活していた(申告書に記入してください。)	4 雇用保険(失業保険)を受給していた。(期間: 年 月～ 年 月)
氏名	申告者との関係
住所	5 生活保護(生活扶助)を受けていた。(期間: 年 月～ 年 月)
2 令和8年1月1日は豊田市以外に居住していた。	6 パート・アルバイトをしていた。
居住地	7 そのほかどのような生活をしてきたか(わかるように具体的に記入してください。)
【居住(予定)期間: 年 月～ 年 月 提出】	A: 貯蓄を取り崩して生活していた。 B: 児童扶養手当をもらっていた。
(国等以外に居住している場合、当該国等に居住状況を記入してください。)	C: 養育費をもらっていた。 D: 前年中は国外に居住していた。
3 A遺族年金・B障害年金・C遺族給付等で生活していた(該当に○印)。	

上一年無収入者或は無収入の期間者、关于上一年中の生活状況、请在该项目上画○或进行填写。

- 1 以家人等的收入等进行生活时: 请填写家人等的姓名・亲属关系・住址。
- 2 2026年1月1日、居住在丰田市以外时: 请填写居住地。居住在国外时、请填写居住的期间与理由。
- 3 以 A 遗族养老金・B 残疾养老金・C 退休金等生活时: 请在该当项目上画○。
- 4 领取了雇用保险(失业保险)时: 请填写领取的期间。
- 5 接受了生活保护时: 请填写领取的期间。
- 6 做计时工・打工时: 有工资的期间、请将工资收入的明细填写到5处。
- 7 其他情况时: 关于去年的生活状况、是怎样维持生计的、请进行详细地填写。  
例如: 以储蓄存款进行生活。 例如: 上一年中、居住在外国。 等